

平成22年度技術士第二次試験問題【衛生工学部門】

必須科目

10時～12時30分

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ－1，Ⅱ－2）のうち1問題を選んで解答せよ。（解答問題番号を明記し，答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－1 次の問題について解答せよ。

平成21年9月22日にニューヨーク国連本部で開催された国連気候変動首脳会合において，鳩山総理大臣は温室効果ガス排出量の削減について，以下のステートメントを行った。

(i) 我が国の中期目標については，1990年比で言えば2020年までに25%削減をめざす。

ただし，この国際社会への約束は，すべての主要国の参加による意欲的な目標の合意が「前提」である。これを政治の意志として，あらゆる政策を総動員して実現をめざしていく。

(ii) 特に脆弱な途上国や島嶼国の適応対策への支援について，1) 先進国が相当の新規で追加的な官民の資金で貢献することが必要，2) とりわけ支援資金により実現される途上国の排出削減について，測定・報告・検証可能な形でのルール作りが必要，3) 資金支援につき，予測可能な形の革新的なメカニズムの検討や，バイ・マルチ資金についての情報提供やマッチングに関するシステムが必要，また，4) 低炭素技術の移転を促進するため，知的所有権の保護と両立する枠組みを創ること，を含む「鳩山イニシアティブ」を提案，これを具体化する中でCOP15の成功のために尽力していく。

(iii) 世界の中で相対的に高い技術開発のポテンシャルと資金力をもっている我が国が，率先して削減目標を掲げ，その削減を実現していくことが世界における役割であり，我が国が国民，企業及び政治においても持続可能な社会をつくることが次世代に対する責務。

(外務省HPより引用)

これに関連して以下の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 2020年までに我が国の温室効果ガス排出量を1990年比で25%削減するという中期目標が導かれた理由を，①科学的根拠，②政策的背景に分けて考察せよ。

(2) 2020年までに我が国の温室効果ガス排出量の1990年比25%削減を実現するための主な方策を，多様な観点から5つ挙げ，その概要を説明せよ。

(3) そのうちあなたの専門とする分野と最も関連のあるもの1つを選択し，その方策を実施する上での課題を列挙し，それらの解決策，その解決策の実現化の将来展望について述べよ。

Ⅱ－２ 次の記述を読んで、下記の(1)～(3)の問いに答えよ。

新聞記事（省略）

(注) 一部問題を改変 (朝日新聞 2010年1月30日朝刊「社説」より抜粋)

- (1) 企業や行政などの組織が、「安全」と「品質」を確かなものとし、社会的な信頼性を確立していくために、日頃から取り組むべき組織的な活動にはどのようなものがあるか、具体的な例を2つ挙げて説明せよ。
- (2) あなたの所属する組織において、あなた自身が技術的不具合に関する情報を早期に把握した場合に、あなたがとるべき行動について述べよ。
- (3) 顧客からの苦情等による問題の発生やその広がり認められた時、その問題に対処するに当たって留意すべき重要な観点を3つ挙げ、それぞれの観点からの対応策について述べよ。